

沿革

昭和11年 1月	倉吉市明治町1022番地に齋木久寿の個人経営で、明治機械製作所を創業、スチーム・トラップその他鉄工製品の製造を開始
昭和21年 8月	戦争にともない、民間兵器製造工場として賠償工場指定を受ける
昭和25年 6月	賠償工場指定解除により本来の精密型鍛造および機械加工を再開
昭和32年 5月	個人経営を発展的に解消し、資本金3,500千円の株式会社明治機械製作所を設立、取締役社長に齋木久寿就任
昭和34年 5月	受注の激増に対応すべく現在地に新工場の建設を開始
昭和35年 4月	新工場（現在地）への移転を完了
昭和38年10月	齋木久寿死去のため、齋木修一郎 社長に就任
昭和44年 2月	大阪中小企業投資育成会社により、転換社債引き受けが承認される
昭和47年10月	わが国最初の防音密閉鍛造工場を完成
昭和48年 4月	大阪中小企業投資育成株式会社の転換社債 20,000千円が株式に転換される
昭和48年12月	当社出資の株式会社テクノメタルを三朝町小河内に設立（現資本金 40,000千円）
昭和50年 4月	社員会館を完成
昭和56年10月	特別高圧受電設備を設置 以後、逐次重油加熱炉を高周波電気加熱炉に転換し品質及び生産性の向上と併せて、公害防止を図る
昭和61年 5月	創立50周年に当たり、社名を株式会社明治製作所に改称
昭和61年11月	第1回全国素形材産業環境優良工場（素形材センター会長賞）の表彰を受ける
昭和63年 5月	受電容量を10,000KVAに増量 同時に鍛造ラインはすべて高周波電気加熱炉となる
平成 1年 4月	メンテナンス工場を完成
'90年 7月	成品工場（熱処理、検査、倉庫併設）を完成
'92年 9月	TPM活動キックオフ
'92年11月	労働大臣表彰（技能士の奨励）を受ける
'94年11月	通産省機械情報産業局長賞（素形材産業環境優良工場）を受ける
'95年11月	'95TPM優秀賞第2類合格
'97年 1月	金型・工機工場を完成
'97年 8月	齋木修一郎 会長に就任、齋木憲久 社長に就任

'98年10月	'98TPM優秀賞第1類合格
'98年10月	鳥取県高度熟練技能者認定事業所となる
'01年 1月	第2鍛造工場を完成
'01年12月	ISO14001 認証取得
'02年11月	経済産業大臣表彰（素形材産業環境優良工場）を受ける
'02年11月	TPM優秀継続賞第1類合格
'04年 1月	第3鍛造工場を完成
'04年 4月	ISO9001 認証取得
'08年 3月	企業立地促進事業所県内第1号承認
'09年 3月	タイに合弁会社 TSMF(タイミットメグフォージング)を設立
'14年 7月	新メンテナンス工場を完成
'17年 3月	大谷工場竣工
'21年 6月	IATF16949 認証取得

役員

代表取締役社長	齋木憲久
常務取締役	田口 洋
取締役総務部長	竺原紀人
取締役営業部長	水上 潤
取締役製造部長	高嶋 淳
取締役技術開発部長	細川裕文
監査役	能見安就

就労状況

1. 従業員数	281名（役員除く）
2. 労働時間	年間 1,944.00時間 （243日出勤・年間休日122日） 実働 8.00時間/日
3. 勤務時間	普通 8:15～17:00 1直 6:30～15:15（6:30～16:00） 2直 15:15～24:00（16:00～1:30） 3直 22:30～ 7:00
	※（ ）内は鍛造部門
鍛造部門、金型・検査部門の一部	1直2直体制
熱処理部門	1直2直3直体制